

U.S. Indicators

発表日: 2024年7月2日(火)

米国 製造業の緩やかな調整を示す(6月ISM製造業)

～先行き不透明感による在庫抑制のため生産・雇用が低下～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年6月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、48.5(前月48.7)と市場予想中央値の49.1(筆者予想49.2)への上昇に反して、前月比0.2%低下した。生産や雇用の低下を主因に、米製造業部門が縮小幅を拡大したことを示した。ただし、景気指数は50を小幅下回る水準にとどまっており、製造業部門の緩やかな調整の継続を示している。

6月の構成項目別の前月からの変化では、新規受注、入荷遅延が上昇した一方、在庫、雇用、生産が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、新規受注が前月比+0.78%pt、入荷遅延が前月比+0.18%ptの押し上げ寄与となった一方、在庫が前月比▲0.50%pt、雇用が前月比▲0.36%pt、生産が前月比▲0.34%ptの押し下げ寄与となった。

構成項目の水準では、雇用、生産が50を下回ったほか、新規受注、在庫、入荷遅延が50を下回ったままとなり、全項目が縮小を示した。生産は、在庫削減の動きにより50を下回った。生産の拡大した業種は18業種中8業種(前月6業種)にとどまった。雇用は、レイオフの増加等によって雇用の拡大した業種数が5業種(前月7業種)にとどまり50を下回った。

新規受注は、金利の高止まり、インフレ懸念等を背景とした景気の先行き不透明感の強いなか、50を下回っており、拡大した業種は18業種中6業種(前月4業種)にとどまった。在庫は、景気の先行きに対する慎重な見方を背景に50を下回っている。入荷遅延は需要鈍化の影響により49.8と概ね遅延のない状況にある。

サブ項目では、輸出受注DIが48.8(前月50.6)と輸出が減少に転じたことを示した。また、輸入DIは48.5(前月51.1)と輸入の減少を示した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、52.1(前月57.0)と大幅に低下し、コスト上昇圧力が緩和したことを示した。商品別では、アルミニウム、プラスチック樹脂、銅、電気部品、海上輸送等の価格が上昇した。供給不足品では、電気部品に加えて、電子部品などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0
24/03	50.3	51.4	54.6	47.4	48.2	49.9	46.3	55.8	51.6	53.0
24/04	49.2	49.1	51.3	48.6	48.2	48.9	45.4	60.9	48.7	51.9
24/05	48.7	45.4	50.2	51.1	47.9	48.9	42.4	57.0	50.6	51.1
24/06	48.5	49.3	48.5	49.3	45.4	49.8	41.7	52.1	48.8	48.5

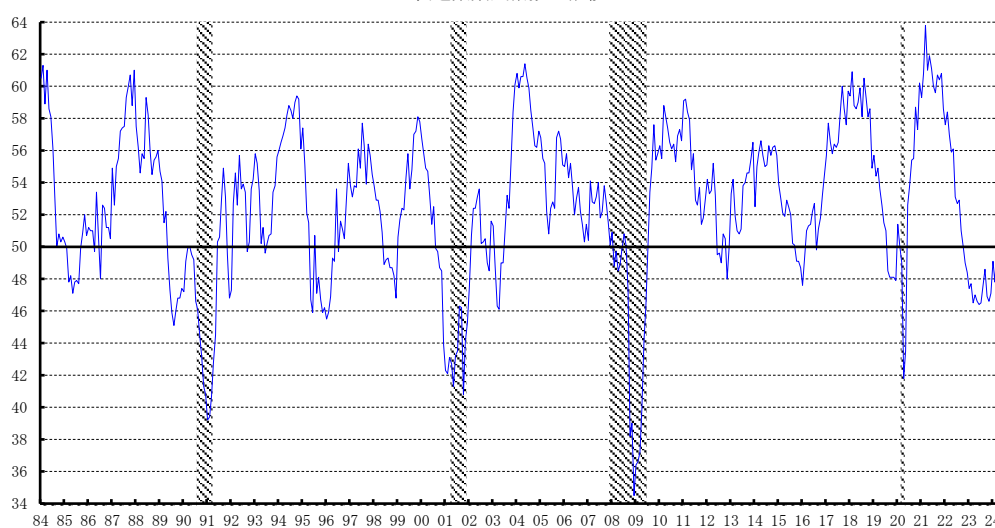
(出所) The Institute for Supply Management



6月に拡大した業種は、全18業種のうち印刷・関連サポート活動、石油・石炭、一次金属、家具・同関連、紙製品、化学製品、その他製造業、非鉄の8業種と前月の7業種から増加した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は、化学製品の1業種（前月2業種）となった。一方、縮小した業種は、繊維、一般機械、加工金属、木材製品、輸送機器、プラスチック・ゴム製品、食品・飲料・タバコ、電気設備・部品、コンピューター・電子機器の9業種と前月の7業種から増加した。なお、アパレル・皮革製品は前月比横ばいとなった。

製造業部門の活動は、金融政策や選挙などの先行き不透明感の高まりを背景とした需要の鈍化によって年末にかけて調整を続けると予想される。

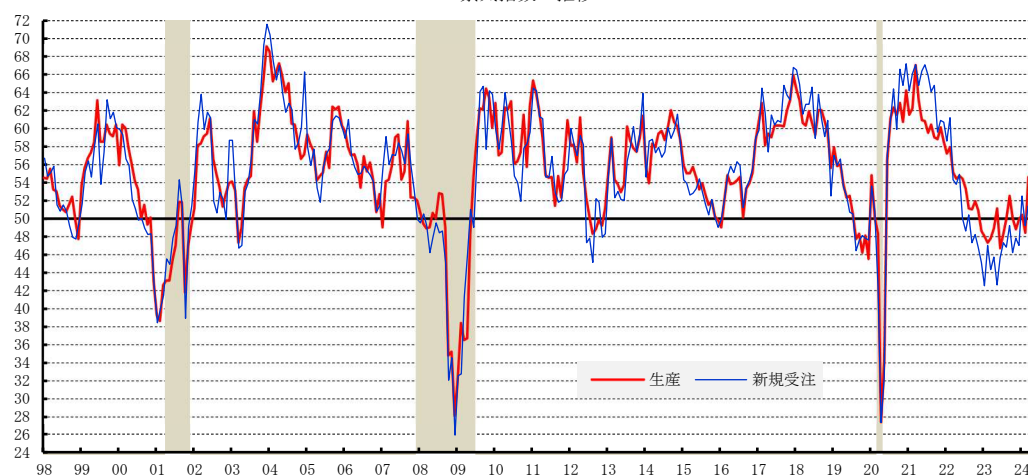
ISM製造業景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

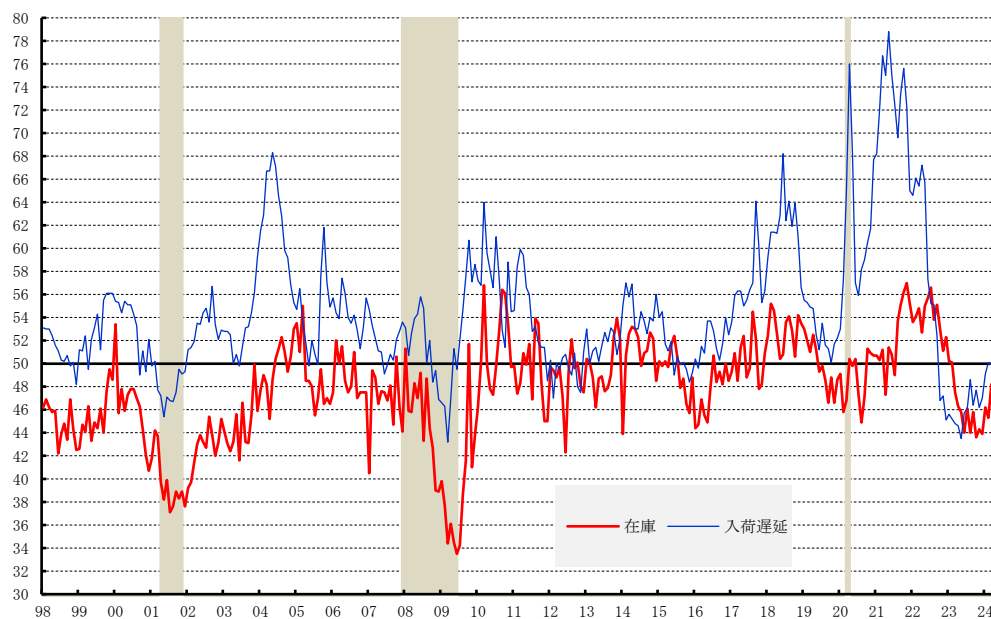
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

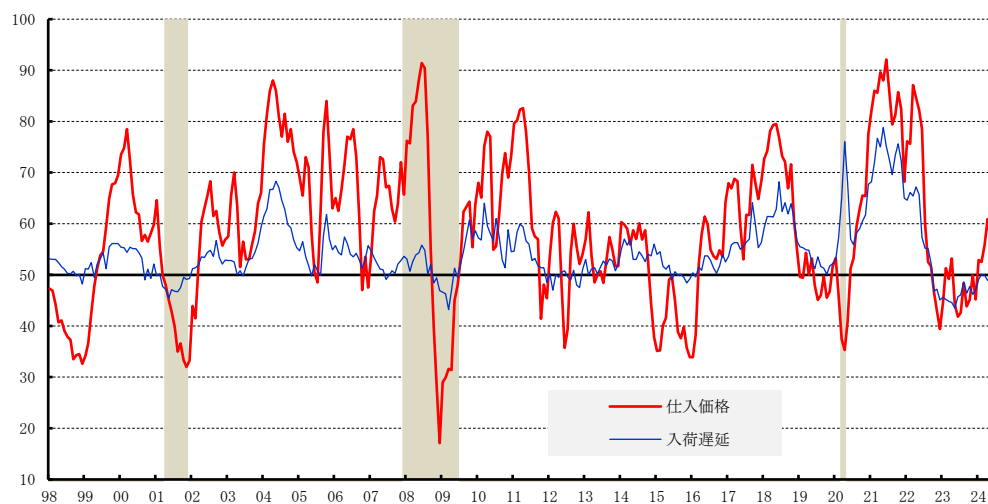
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

